

平成24年5月期

少額短期保険募集人試験問題正解

特定非営利活動法人
少額短期保険募集人研修機構

設 問	ア		イ		ウ	
	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答
問題1	1	2	2	2	3	2
問題2	4	1	5	3		
問題3	6	1	7	1		
問題4	8	1	9	2	10	1
問題5	11	2	12	1		
問題6	13	1	14	6	15	3
問題7	16	2	17	2	18	1
問題8	19	2	20	1		
問題9	21	2	22	1		
問題10	23	2	24	1	25	1
問題11	26	2	27	2	28	2
問題12	29	2	30	1	31	1
問題13	32	6	33	2	34	4
問題14	35	1	36	1	37	1
問題15	38	2	39	2	40	2
問題16	41	2	42	4		
問題17	43	2	44	2		
問題18	45	1	46	1		
問題19	47	2	48	1		
問題20	49	2	50	1		

配点：各2点

平成24年5月期

少額短期保険募集人試験問題用紙

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないで下さい。
2. 試験用紙は問題用紙と解答用紙から成っています。
3. 解答は、解答用紙に記載された注意事項に従って、すべて解答用紙に記入（マーク：必ずHBまたはHBよりも濃い黒鉛筆もしくはシャープペンシルを使用）して下さい（問題用紙に書いたものは無効です。）。
4. 解答用紙には、所属少額短期保険事業者名・受験地区名・受験者姓名および受験番号を必ず記入して下さい（「受験票」の記載どおりに記入して下さい。）。また、受験番号をマークすることも忘れないで下さい。
5. 試験の解答時間は、正味60分です。
6. 試験時間中の私語は厳禁とします。
7. 資料（電卓等を含みます。）の持込み・使用は、いっさい認められません。
8. 試験時間中は、携帯電話等の使用はいっさい認められません。あらかじめ電源を切っておいて下さい。
9. 解答用紙は必ず提出し、いかなる場合も持ち帰らないで下さい（問題用紙は持ち帰っても構いません。）。
10. 試験時間中は、「受験票」を机の上の見やすいところに出しておいて下さい。また、運転免許証やパスポートなどの「本人確認書類」も一緒に出しておいて下さい。
なお、試験終了後、「受験票」は各自持ち帰り、所属少額短期保険事業者の指示に従って処分して下さい。

本試験における出題は、「少額短期保険募集人教育テキスト」【平成24年4月版】の記載内容に基づいています。

※【平成23年4月版】で学習された場合でも、解答に影響はございません。

特定非営利活動法人
少額短期保険募集人研修機構

【保険の基礎知識】

(問題 1)

保険のしくみと役割に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ~)

- ア. 火災で焼失した住宅の再築中に臨時にアパートを賃借するなど、物的損害にともなって余分な費用が発生する費用リスクは、「賠償責任リスク」に属します。
- イ. リスク対策とは、保険を付保するなど、損失発生後の対策を講じることであり、損失の発生を未然に防止する「リスクの防止と軽減」は、リスク対策ではありません。
- ウ. 保険法の規定と保険約款の規定が異なる場合、いかなる場合も保険法の規定が優先して適用されます。

(問題 2)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記1.~4.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

社会保険は、保険に加入している多くの人々が保険料を拠出し、損失を被った人に一定の給付を行うという保険技術を利用し、死亡・疾病・ケガ・失業・老齢などに対して一定の給付を行い、所得または医療を保障する制度ですが、その代表的な存在である年金(保険)には、自営業者等を対象とする 、一般サラリーマンを対象とする 、公務員等を対象とする各種の共済年金があります。

1. 国民年金

2. 国民健康保険

3. 厚生年金保険

4. 個人年金保険

【少額短期保険業】

(問題 3)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 少額短期保険業者は、専業を原則としており、少額短期保険業およびこれに付随する業務に加え、少額短期保険業に関連する業務として内閣府令で定める業務を行う場合には、内閣総理大臣の承認を得なければなりません。
- イ. 少額短期保険業については、金融庁が公表した「少額短期保険業者向けの監督指針」において、規制・監督の詳細が示されており、「適法性」、「透明性」が強く求められています。

(問題 4)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ~)

- ア. 少額短期保険業者は、1保険契約者について引受けるすべての保険の被保険者の総数が100人を超える保険の引受けを行ってはなりません。
- イ. 少額短期保険業者は、保険期間が2年の生命保険契約を取扱うことができます。
- ウ. 少額短期保険業者は、保険料を主として株式や債券などの有価証券に投資し、その運用実績に応じて保険金額が変動する変額保険などを引受けることはできません。

(問題 5)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 少額短期保険業者については、生命保険会社および損害保険会社と同様に、生損保兼営が禁止されており、生命保険と損害保険を一緒に取扱うことはいっさいできません。
- イ. 少額短期保険業を開始する際には、最低、1,000万円の資本金と1,000万円の供託金が必要であり、開業後は、ソルベンシー・マージン比率の適切性などが求められています。

【コンプライアンス】

(問題 6)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記 1.～6. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 13 ~ 15)

少額短期保険業者の委託を受けた少額短期保険募集人が行う業務は、相互の権利・義務などとともに、少額短期保険業者との間で締結された ア. 13 に記載されています。

少額短期保険募集人の行う主な業務の中には、保険契約締結（代理の場合）に関する業務のほか、保険期間を通じてのサービスである イ. 14 や保険事故発生時の ウ. 15 などがあります。

1. 委託契約書
2. 普通保険約款
3. 保険契約者等からの事故報告の受付
4. 保険金支払額の決定
5. 保険料の割引
6. 保険契約の維持・管理

(問題 7)

少額短期保険募集人に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 16 ~ 18)

- ア. 少額短期保険業者の委託を受けた者は、生命保険の募集を行う場合も、損害保険の募集を行う場合も、あらかじめ、行政庁への届出を行うことが必要です。 16
- イ. 少額短期保険業者の委託を受けた者の使用人は、生命保険の募集を行う場合も、損害保険の募集を行う場合も、必ずあらかじめ行政庁への登録を行うことが必要です。 17
- ウ. 登録を受けた少額短期保険募集人は、登録時の申請事項に変更が生じたときや保険募集の業務を廃止したときは、遅滞なくその旨を内閣総理大臣に届け出なければなりません。 18

(問題 8)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 19 ・ 20)

- ア. 保険契約を締結する前に、「重要事項説明書」を保険契約者に交付すれば、改めて重要事項について口頭で説明する必要はありません。 19
- イ. 電話・郵便・インターネット等、非対面方式による情報提供や重要事項の説明を行う場合にも、対面方式で説明する場合と同程度の情報提供や説明を行う必要があります。 20

(問題 9)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 21 ・ 22)

- ア. 少額短期保険募集人は、保険契約者に対して、更新型の保険においては更新時に契約内容の変更があり得ること、1被保険者についての引受額に一定の制限があること等を口頭で説明すれば、書面を交付する必要はありません。 21
- イ. 意向確認書面の交付をしない保険商品の場合でも、少額短期保険募集人は、契約の申込みを行おうとする保険商品がお客様のニーズに合致しているものかどうかを、お客様が契約締結前に確認する機会を確保する必要があります。 22

(問題 10)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 23 ~ 25)

- ア. 生命保険契約の募集の際、被保険者の過去の病歴を偽るよう勧めることは、禁止されていません。 23
- イ. 保険契約の締結にあたり、保険料の端数を切り捨てるなどして、保険料について規定外の割引をする行為は禁止されています。 24
- ウ. 保険業法に定められた事項に違反した者は、その違反の内容によっては一定期間の業務の停止などの行政処分を受けることがあるほか、懲役・罰金といった司法処分を受けることもあります。 25

(問題 11)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 26 ~ 28)

- ア. 保険募集にあたり、業務上の優位な地位を利用し、取引のある業者の従業員全員を強制的に保険に加入させました。 26
- イ. 保険業者等の信用や支払能力について、客観的事実に基づかない数値や格付けを表示した資料を使ったり、また、一部の数値や資料のみを使って説明しました。 27
- ウ. 保険契約者が本人であるかどうかを確認せずに、保険契約を締結しました。 28

(問題 12)

消費者契約法および金融商品販売法に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

(解答番号 29 ~ 31)

- ア. 消費者契約法では保険契約も対象としており、少額短期保険業者だけでなく、少額短期保険業者を代理する「少額短期保険業者の委託を受けた者」も事業者となりますが、媒介のみを行う「少額短期保険業者の委託を受けた者」は、この法律の適用対象外となります。 29
- イ. 金融商品販売法の規定により、金融商品販売業者等に該当する少額短期保険募集人は、顧客に対し重要事項の説明を怠った場合、これによって生じた顧客の損害を賠償しなければなりません。 30
- ウ. 金融商品販売法の規定により、金融商品販売業者等に該当する少額短期保険募集人は、勧誘方針を定め、公表しなければなりません。 31

(問題 13)

個人情報保護法に関する次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記1.~6.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 32 ~ 34)

個人情報取扱事業者は、業務上必要な範囲で、かつ ア. 32 によって個人情報を取得しなければなりません。少額短期保険業者やその委託を受けた者は、アンケート等により見込客情報を入手し、保険商品等を勧める場合には、本人に、 イ. 33 を通知、公表、明示する必要があります。

また、個人データの漏えい等防止のための ウ. 34 として、個人情報が搭載されているパソコンにパスワード等を設定することや事務所等の施錠をしっかりと行うことなどの対策を講じる必要があります。

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. 個人情報保護法の目的 | 2. 利用目的 | 3. 緊急対策措置 |
| 4. 安全管理措置 | 5. 最も迅速な手段 | 6. 適法で公正な手段 |

(問題 14)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 35 ~ 37)

- ア. 生命保険契約を募集する際、被保険者の既往症、身体の障害状態、健康状態などを確認する必要があります。 35
- イ. 損害保険契約や傷害疾病定額保険契約を締結する際には、同じ保険の対象または同じ被保険者について「他の保険契約」の有無、およびそれらの保険金額等を確認する必要があります。 36
- ウ. 保険契約締結時には、保険契約者に保険契約申込書の写し等を交付する必要があります。 37

(問題 15)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 38 ~ 40)

- ア. 保険契約者から領収した保険料を、保険代理業以外の業務に利用している預貯金口座に預け入れることは、差し支えありません。 38
- イ. 保険期間中に、保険契約者から解約の申し出があった場合、少額短期保険業者は解約返れい金を支払う必要はいっさいありません。 39
- ウ. 保険契約の満了にあたっては、保険契約者の明確な意思表示がない限り、保険契約者のライフプランや環境の変化などに応じた保険契約内容の見直しの提案を行ってはいけません。 40

(問題 16)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記1.~4.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 41 ・ 42)

少額短期保険募集人は、保険契約者等から保険事故または給付事由の発生の報告を受けた場合は、その内容等を ア. 41 し、保険金が迅速に支払われるよう イ. 42 について保険契約者等に協力し助言しなければなりません。

1. 修正

2. 確認

3. 保険金の支払額

4. 保険金請求手続き

【保険商品の概要】

(問題 17)

生命保険商品に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 生命保険のうち、定期付終身保険は、保障と貯蓄の両機能を兼ね備え、満期の場合も死亡の場合も同額の保険金が支払われる保険です。
- イ. 生命保険では、被保険者が自殺したときには、いかなる場合にも保険金が支払われません。

(問題 18)

傷害疾病定額保険に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. がん保険には、保険期間を5年、10年などと定める定期タイプと一生涯を保障する終身タイプがあります。
- イ. 普通傷害保険は、日常生活の中で起こるさまざまな事故によるケガに備える最も基本的な傷害保険であり、国内および国外で発生する事故によるケガを補償します。

【保険の周辺知識】

(問題 19)

損害賠償責任に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 損害賠償責任において、不法行為責任はあらかじめ契約関係にある者の間で成立しますが、債務不履行責任は契約関係を前提としません。
- イ. 過失による火災(失火)で、他人の家に延焼損害を与えた場合、失火責任法の規定により、その失火が「重過失」により生じた場合を除き、火元は損害賠償責任を負いません。

(問題 20)

保険と税金に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 保険契約者と被保険者が同一人の生命保険契約で死亡保険金が支払われた場合には、保険金受取人が相続人であるか否かにかかわらず、保険金受取人1名につき、500万円までの金額が非課税となります。
- イ. 火災保険金のように「モノ」に損害が生じたことにより支払われる保険金は、利得を生じないため、原則として非課税となります。